

研究協力をお願い

岐阜県総合医療センターでは、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

最後に、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当センターにおける診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：当科における HBOC 診療の現状と課題

1. 研究対象者および研究対象期間

2018年7月から2023年12月までに当院で乳癌患者にたいしBRCA1/2遺伝子検査を施行した患者様

2. 研究目的・方法

HBOC (Hereditary Breast Ovarian Cancer) : 遺伝性乳癌卵巣癌症候群は、遺伝性乳癌の代表的なものであり、原因遺伝子は BRCA1、BRCA2 遺伝子です。一般に女性が乳癌を発症する確率は生涯で 9%とされていますが、BRCA 遺伝子に変異があると 70 才までに 49-57%になると報告されています。また卵巣癌は一般的に 70 才までに発症する確率は 1%なのにたいし、BRCA 遺伝子変異があると 18-40%とされています。

BRCA1/2 遺伝子検査は 2018 年に PARP 阻害剤オラパリブが「がん化学療法歴のある BRCA 遺伝子変異陽性かつ HER2 陰性の手術不能または再発乳癌」に適応拡大されたことで保険収載され、2020 年には HBOC の疑いがある患者にたいして、2022 年 8 月には「BRCA 遺伝子バリエーション陽性かつ HER2 陰性で再発高リスクの乳癌」の患者にたいしオラパリブの適応が再度拡大されたことで検査対象者が増加しています。

これらの時期別に当科における HBOC 診療の現状を把握することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

乳癌診断時年齢、検査時年齢、検査目的、バリエーション症例数（乳癌サブタイプ等）、家族歴、再発例におけるオラパリブの使用有無、予防切除（卵巣、乳房）の有無

4. 個人情報の取り扱い

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学

術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

5. お問い合わせ先

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

乳腺外科

小木曾敦子

電話番号：058 - 246 - 1111